級別に取り組む、漢字の問題プリント

漢字ドリル

漢検 準2 級

第1巻 問題のみ

読み、書き、くり返し。

36字

この巻で学ぶ漢字

この巻で取り組む漢字の一部

亜 尉 逸 姻 韻 畝

問題にじっくり取り組む

本文 27ページ・答えは各用紙のQRから

diglabo.com

diglabo

漢検の級別配当を参考にした独自教材です。公式問題集ではありません。

日本漢字能力検定協会の公式教材ではありません。字の範囲は同協会の級別漢字表（2020年度）に基づきます
diglabo.com/k/WC098FC1A881B45D6

じゅん2きゅう たんい1 A

なまえ

/ 14

1. 鉄板の表面に［あ］鉛（えん）をめっきする
2. 将来有望な［いっ］材（ざい）を発掘する
3. 鐘の音の余（よ）［いん］が残る
4. 沖縄は［あ］熱（ねっ）帯（たい）の気候だ
5. 偉人の意外な［いっ］話（わ）を紹介する
6. 和歌の［いん］律（りっ）を味わう
7. 戦場から生還した中尉の手記を読む
8. 法律上の婚姻の手続きを済ませる
9. 大根の畝間に肥料をまく
10. 捕手は投手の女房役と呼ばれる
11. アリの女王はたまごをうむ
12. 結婚によって姻族の関係が生じる
13. 自衛隊の准尉に任命される
14. コーデュロイは畝織りの布地だ

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

日本漢字能力検定協会の公式教材ではありません。字の範囲は同協会の級別漢字表（2020年度）に基づきます
diglabo.com/k/W926414FC5B6DB856

じゅん2きゅう たんい1 A-2

なまえ

/ 15

1. カーテンの□（き）を店で選ぶ（地（じ））
2. 有名画家の□（あ）流（りゅう）にとどまる作品
3. ベンガルトラはトラの□（あ）種（しゅ）だ
4. 先（せん）□（せい）に朝（あさ）のあいさつをする
5. 本来の目的から□（いっ）脱（だつ）した議論
6. 戦乱で古文書が散（さん）□（いっ）した
7. 漢詩では句末で押（おう）□（いん）する
8. 英詩の脚（きゃく）□（いん）を調べる
9. 女の人がバスを待（ま）っている□
10. 女子のリレーをみんなでおうえんする□
11. 婚姻届の証人欄に署名する□
12. 魚が繁殖期に見せる婚姻色□
13. 尉官は将校の階級の一つだ□
14. 戦時中は陸軍の少尉として戦った□
15. 畝溝に沿って種をまく□

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

日本漢字能力検定協会の公式教材ではありません。字の範囲は同協会の級別漢字表（2020年度）に基づきます
diglabo.com/k/W4191D30E487F305F

じゅん2きゅう たんい1 B

なまえ

/ 16

1. 海軍の少（しょう）□（い）として艦に乗る
2. 民法は婚（こん）□（いん）の成立要件を定める
3. 畑の□（うね）間（ま）に水を流す
4. 勝利の□（め）神（がみ）がほほえむ
5. ドッジボールで□（じょ）子（し）が勝（か）つ
6. 配偶者の親族を□（いん）族（ぞく）という
7. 自衛隊の一（いち）□（い）に昇進する
8. □（うね）織（おり）の生地で作ったズボン
9. 恐竜が栄えた白亜紀の地層を調べる
10. 職人が仕上げた逸品を手に取る
11. ラップは韻を踏む表現が多い
12. 明治の日本は生糸を多く輸出した
13. 北海道の大部分は亜寒帯に属する
14. 先生が黒板（こくばん）に字を書（か）く
15. 絶好の機会を逸する
16. 言語学で音韻の変化を研究する

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

日本漢字能力検定協会の公式教材ではありません。字の範囲は同協会の級別漢字表（2020年度）に基づきます
diglabo.com/k/W662623590C2A6D80

じゅん2きゅう たんい2 A

なまえ

/ 16

1. 海辺の□(うら)風(かぜ)が心地よい
2. 各国の大使が国王に□(えっ)見(けん)する
3. 路面の□(おう)凸(とつ)をならす
4. 紺(こん)□(じょう)の海が水平線まで続く
5. □(おう)面(めん)鏡(きょう)で顔を大きく映す
6. □(うら)波(なみ)が岩に砕ける
7. 皇居で天皇に拝(はい)□(えっ)する
8. □(あお)空(ぞら)にたこが上がる
9. 睡眠不足で免疫力が落ちる □
10. チンパンジーなどの類人猿の知能を調べる □
11. 村の老翁に昔の祭りの話を聞く □
12. 絵馬に恋の成就を願う □
13. いとこが春からパン屋に就職した □
14. 見え透いた猿芝居にだまされない □
15. 港で検疫官が船を調べる □
16. 慶応義塾の創立者が書いた福翁自伝 □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

日本漢字能力検定協会の公式教材ではありません。字の範囲は同協会の級別漢字表（2020年度）に基づきます
diglabo.com/k/W4324BD9849742DE6

じゅん2きゅう たんい2 B

なまえ

/ 15

1. ワクチンで免（めん）□（えき）をつける
2. □（えん）人（じん）の化石が見つかる
3. 白髪の老（ろう）□（おう）が昔を語る
4. 姉が春から銀行に□（しゅう）職（しょく）する
5. 姉が児童会長に□（しゅう）任（にん）する
6. ゴリラは類人（るいじん）□（えん）だ
7. 空港の検（けん）□（えき）で体温を測る
8. ペリーの黒船が浦賀に来航した □
9. ローマ教皇に謁見を許される □
10. 太陽の光を凹面鏡で一点に集める □
11. 日本画の群青は鉱物から作られる □
12. 顔の凹凸を生かした化粧 □
13. 神奈川県の三浦半島をドライブする □
14. 使節が皇帝に拝謁した □
15. 青い海（うみ）がどこまでもつづく □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

日本漢字能力検定協会の公式教材ではありません。字の範囲は同協会の級別漢字表（2020年度）に基づきます

diglabo.com/k/W861DC5DB1822F64E

じゅん2きゅう たんい3 A

なまえ

/ 15

1. 落石の□（おそれ）〔送り仮名なし・常用漢字一字〕
2. 将来に□（か）根（こん）を残す
3. 祖父は□（か）黙（もく）だが優しい人だ
4. 旅行中は規（き）□（りつ）を守って行動する
5. 寄付は金額の多（た）□（か）を問わない
6. 国会で新しい法（ほう）□（りつ）が決まる
7. 戦争の惨（さん）□（か）を語り継ぐ
8. 会場が笑いの渦に包まれた□
9. 祖父の代から製靴業を営む□
10. 工場の稼働率が上がる□
11. 業界再編で企業の合従連衡が進む□
12. 工場で働く従業員の話を聞く□
13. 胸の中で不安が渦巻く□
14. 停止中の原発の再稼働が議論される□
15. 長距離を歩いて靴擦れができた□

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

日本漢字能力検定協会の公式教材ではありません。字の範囲は同協会の級別漢字表（2020年度）に基づきます
diglabo.com/k/W36BDB1D399D74AAA

じゅん2きゅう たんい3 B

なまえ

/ 16

1. 鳴門海峡の［　　］（うず）潮（しお）を見物する
2. 就職活動用の革（かわ）［　　］（ぐつ）を買う
3. アルバイトで学費を［　　］（かせぐ）
4. ［　　］（しょう）容（よう）として運命を受け入れる
5. 店の［　　］（じゅう）業（ぎょう）員（いん）に道を聞く
6. 事件の［　　］（か）中（ちゅう）にいる人物
7. サラリーマン［　　］（か）業（ぎょう）も楽ではない
8. 雨の日に長（なが）［　　］（ぐつ）を履く
9. 大雨で堤防が決壊する［虞］がある
10. 戦［禍］を逃れて国外へ避難する
11. 寡［作］で知られる画家
12. 祖父は年賀状を欠かさない［律儀者］だ
13. 少数の権力者が国を動かす［寡頭政治］
14. 車は［法律］で決められた速さで走る
15. 新聞記事が［筆禍］を招く
16. このままでは延焼の［虞］が強い

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

日本漢字能力検定協会の公式教材ではありません。字の範囲は同協会の級別漢字表（2020年度）に基づきます
diglabo.com/k/W1BD0222C9AD80499

じゅん2きゅう ふりかえり3 A

なまえ

/ 24

1. 鉄板の表面に［あ］鉛（えん）をめっきする
2. 将来有望な［いつ］材（ざい）を発掘する
3. 鐘の音の余（よ）［いん］が残る
4. 海辺の［うら］風（かぜ）が心地よい
5. 各国の大使が国王に［えっ］見（けん）する
6. 路面の［おう］凸（とつ）をならす
7. 落石の［おそれ］〔送り仮名なし・常用漢字一字〕
8. 将来に［か］根（こん）を残す
9. 祖父は［か］黙（もく）だが優しい人だ
10. 紺（こん）［じょう］の海が水平線まで続く
11. 沖縄は［あ］熱帯（ねったい）の気候だ
12. レンズの［おう］面（めん）に光を当てる
13. 戦場から生還した中尉の手記を読む［　］
14. 法律上の婚姻の手続きを済ませる［　］
15. 大根の畝間に肥料をまく［　］
16. 睡眠不足で免疫力が落ちる［　］
17. チンパンジーなどの類人猿の知能を調べる［　］
18. 村の老翁に昔の祭りの話を聞く［　］
19. 会場が笑いの渦に包まれた［　］
20. 祖父の代から製靴業を営む［　］
21. 工場の稼働率が上がる［　］
22. 捕手は投手の女房役と呼ばれる［　］
23. 絵馬に恋の成就を願う［　］
24. 業界再編で企業の合従連衡が進む［　］

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

日本漢字能力検定協会の公式教材ではありません。字の範囲は同協会の級別漢字表（2020年度）に基づきます
diglabo.com/k/W7D83353B5084077F

じゅん2きゅう ふりかえり3 A-2

なまえ

/ 24

1. カーテンの［き］地（じ）を店で選ぶ
2. 旅行中は規（き）［りつ］を守って行動する
3. 有名画家の［あ］流（りゅう）にとどまる作品
4. ベンガルトラはトラの［あ］種（しゅ）だ
5. ［おう］面鏡（めんきょう）で顔を大きく映す
6. 銅板を彫って［おう］版（はん）を作る
7. 寄付は金額の多（た）［か］を問わない
8. ［か］聞（ぶん）にしてその説を知らない
9. 国会で新しい法（ほう）［りつ］が決まる
10. ［うら］波（なみ）が岩に砕ける
11. ［うら］辺（べ）に小さな漁村が続く
12. 女の人がバスを待っている
13. 女子のリレーをみんなでおうえんする
14. 婚姻届の証人欄に署名する
15. 魚が繁殖期に見せる婚姻色
16. 尉官は将校の階級の一つだ
17. 戦時中は陸軍の少尉として戦った
18. いとこが春からパン屋に就職した
19. 父が町内会の会長に就任した
20. 工場で働く従業員の話を聞く
21. 新しい電車は従来の車両より静かだ
22. 胸の中で不安が渦巻く
23. 台風の雲が渦状に広がる
24. 見え透いた猿芝居にだまされない

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

日本漢字能力検定協会の公式教材ではありません。字の範囲は同協会の級別漢字表（2020年度）に基づきます
diglabo.com/k/W4BF2F8154091CC90

じゅん2きゅう ふりかえり3 B

なまえ

/ 24

1. 海軍の少（しょう）□（い）として艦に乗る
2. 民法は婚（こん）□（いん）の成立要件を定める
3. 畑の□（うね）間（ま）に水を流す
4. ワクチンで免（めん）□（えき）をつける
5. □（えん）人（じん）の化石が見つかる
6. 白髪の老（ろう）□（おう）が昔を語る
7. 鳴門海峡の□（うず）潮（しお）を見物する
8. 就職活動用の革（かわ）□（ぐつ）を買う
9. アルバイトで学費を□（かせぐ）
10. 勝利の□（め）神（がみ）がほほえむ
11. □（しょう）容（よう）として運命を受け入れる
12. 恐竜が栄えた白亜紀の地層を調べる
13. 職人が仕上げた逸品を手に取る
14. ラップは韻を踏む表現が多い
15. ペリーの黒船が浦賀に来航した
16. ローマ教皇に謁見を許される
17. 太陽の光を凹面鏡で一点に集める
18. 大雨で堤防が決壊する虞がある
19. 戦禍を逃れて国外へ避難する
20. 寡作で知られる画家
21. 明治の日本は生糸を多く輸出した
22. 日本画の群青は鉱物から作られる
23. 祖父は年賀状を欠かさない律儀者だ
24. ヒット作の亜流が次々に現れる

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

日本漢字能力検定協会の公式教材ではありません。字の範囲は同協会の級別漢字表（2020年度）に基づきます
diglabo.com/k/WD2FC11012873027B

じゅん2きゅう ふりかえり3 B-2

なまえ

/ 24

1. 姉が春から銀行に□職（しゅうしょく）する
2. ドッジボールで□子（じょし）が勝（か）つ
3. □王（じょおう）が王かんをかぶっている
4. 配偶者の親族を□族（いんぞく）という
5. 役所に婚（こん）□届（ととけ）を出す
6. 自衛隊の一（いち）□に昇進する
7. 陸軍の大（たい）□が部隊を率いる
8. 姉が児童会長に□任（しゅうにん）する
9. 店の□業員（じゅうぎょういん）に道を聞く
10. 新しい方法は□来（じゅうらい）より早い
11. 事件の□中（かちゅう）にいる人物
12. 洗濯機の水が□巻（うずま）く
13. ゴリラは類人（るいじん）□だ（えん）
14. 二人は犬（けん）□の仲だ（えん）
15. □北海道の大部分は亜寒帯に属する
16. □亜麻色の長い髪が風になびく
17. □顔の凹凸を生かした化粧
18. □紙幣の印刷には凹版が使われる
19. □少数の権力者が国を動かす寡頭政治
20. □寡占市場で価格が高止まりする
21. □車は法律で決められた速さで走る
22. □早起きをして規律正しい生活を送る
23. □神奈川県の三浦半島をドライブする
24. □浦島太郎が竜宮城から戻る

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

日本漢字能力検定協会の公式教材ではありません。字の範囲は同協会の級別漢字表（2020年度）に基づきます
diglabo.com/k/WFE02F7FB35A1BAC3

じゅん2きゅう たんい4 A

なまえ

/ 16

1. 夏の夕暮れに □(か) 柱(ばしら) が立つ
2. 昔の暮らしを □(かい) 古(こ) する
3. 恩師は 生(しょう) □(がい) を研究に費やした
4. 平(へい) □(ぼん) な毎日に幸せを感じる
5. 幼い頃(ころ)から 非(ひ) □(ぼん) な才能を持つ
6. その説に □(かい) 疑(ぎ) の目を向ける
7. 故郷を離れ 天(てん) □(がい) の地をさすらう
8. 渓流釣りで □(か) 針(ばり) を使う
9. 誘拐事件 □ の捜査本部が置かれた
10. 新聞が政府の腐敗を 弾劾 □ する記事を載せる
11. 垣根越し □ に隣の人とあいさつする
12. パセリを添えて料理の 彩り □ を良くする
13. 罷免の訴えを受けて 弾劾裁判 □ が開かれる
14. カナメモチの 生け垣 □ が赤く色づく
15. 太陽の近くに 彩雲 □ が見えた
16. 身代金を要求する 誘拐犯 □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

日本漢字能力検定協会の公式教材ではありません。字の範囲は同協会の級別漢字表（2020年度）に基づきます
diglabo.com/k/WA3DAC1EA6A1678F4

じゅん2きゅう たんい4 B

なまえ

/ 15

1. 海外で邦人が 誘（ゆう） □（かい） される
2. 議会が大統領を 弾（だん） □（がい） する
3. 庭の □（かき） 根（ね） を越えて枝が伸びる
4. 花火が夏の夜空を □（いろどる）
5. 事故現場に 人（ひと） □（がき） ができる
6. 秋の山は 色（しき） □（さい） が豊かだ
7. 公金を □（かい） 帯（たい） して逃げる
8. 耳元で 蚊 の羽音がする □
9. 地震に備えて 懐中電灯 を用意する □
10. 退職後に 生涯学習 の講座に通う □
11. 辞書を使う前に 凡例 に目を通す □
12. この映画の主人公は 平凡 な会社員だ □
13. 京都で 懐石料理 を味わう □
14. この恩は 一生涯 忘れない □
15. 夏の夜に 蚊 に刺されて腕がかゆい □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

日本漢字能力検定協会の公式教材ではありません。字の範囲は同協会の級別漢字表（2020年度）に基づきます
diglabo.com/k/W3942736E9B949EAC

じゅん2きゅう たんい5 A

なまえ

/ 16

1. 事件の□心に迫る（かく）
2. 犬がうなって相手を威□する（かく）
3. 監督が選手を一□した（かつ）
4. 講演の要□を百字で書く（し）
5. 相手の矛盾を□破する（かつ）
6. 威□射撃を行う（かく）
7. 会の趣□を説明する（し）
8. チームの中□を担う選手（かく）
9. 甲殻類の脱皮を観察する
10. ローンを一括払いで返済する
11. のどの渇きを覚える
12. 外出の際は窓も必ず施錠する
13. 大切な語を括弧で囲む
14. 首相が施政方針を述べる
15. 火山の噴火は地殻変動と関係が深い
16. 日照りで川が細り渇水に陥る

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

日本漢字能力検定協会の公式教材ではありません。字の範囲は同協会の級別漢字表（2020年度）に基づきます

diglabo.com/k/W8489AD2BE642FCA9

じゅん2きゅう たんい5 B

なまえ

/ 16

1. 浜辺で 貝(かい) □(がら) を拾う
2. 代金を 一(いっ) □(かつ) で支払う
3. 雨が少なく夏の □(かっ) 水(すい) が心配だ
4. 工務店と □(せ) 主(しゅ) が打ち合わせる
5. 一年間の活動を 総(そう) □(かつ) する
6. 古くなった □(し) 設(せつ) を建て替える
7. 地震は 地(ち) □(かく) のずれで起きる
8. 自由を □(かつ) 望(ぼう) する人々
9. 原子核の構造を研究する □
10. ハチが羽音で威嚇してくる □
11. 師の一喝で目が覚めた □
12. 欠席する旨を前日までに担任へ伝える □
13. 真理を喝破した名言 □
14. 相手に威嚇的な態度をとる □
15. 新聞記事の要旨を読み取る □
16. 太陽は核融合で輝いている □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

日本漢字能力検定協会の公式教材ではありません。字の範囲は同協会の級別漢字表（2020年度）に基づきます
diglabo.com/k/WC70B253E8AE3DA30

じゅん2きゅう たんい6 A

なまえ

/ 13

1. 日焼けして肌が［　　］色になる（かっしょく）
2. よく学び［　　］よく遊ぶ（かつ）
3. 祖父は庭の草木を［　　］（いつくしむ）
4. 日照り続きの畑に［　　］雨が降る（じう）
5. ［　　］炭は質の低い石炭だ（かったん）
6. この地域を管轄する消防署［　　］
7. 河川敷で空き缶を拾い集める［　　］
8. 政権が内憂外患の危機に立つ［　　］
9. 株価の暴落で市場が恐慌に陥った［　　］
10. 心臓を患う人のための食事療法［　　］
11. 慌て者の私はよく傘を置き忘れる［　　］
12. 作家が旅館に缶詰になって原稿を書く［　　］
13. 江戸時代の幕府の直轄地［　　］

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

日本漢字能力検定協会の公式教材ではありません。字の範囲は同協会の級別漢字表（2020年度）に基づきます
diglabo.com/k/W7288814409623518

じゅん2きゅう たんい6 A-2

なまえ

/ 14

1. 設計上の 欠（けっ）□（かん）を指摘する
2. 簡潔 □（かつ） 明快に述べる
3. 仏の □（じ） 悲（ひ）にすがる
4. 動物たちに □（じ） 愛（あい）を注ぐ
5. 黒（こっ） □（かっ） 色（しょく）の毛並みの馬
6. 茶（ちゃ） □（かっ） 色（しょく）の革のかばん
7. 激しい攻防の末に城が □（かん） 落（らく）する
8. 生活習慣病などの 疾患 □ を予防する
9. 患者 □ の声に耳を傾ける医師
10. 年の瀬の町は 慌ただしい □
11. 急な来客に 大慌て □ で部屋を片付ける
12. キャンプに 缶切り □ を持っていく
13. 所轄 □ の警察署に相談する
14. 本部が全支店を 統轄 □ する

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

日本漢字能力検定協会の公式教材ではありません。字の範囲は同協会の級別漢字表（2020年度）に基づきます
diglabo.com/k/W2ED4C37FB43FA685

じゅん2きゅう たんい6 B

なまえ

/ 16

1. 事件を 管（かん） □（かつ） する警察署
2. 非常用の □（かん） 詰（づめ） を備蓄する
3. 待合室で □（かん） 者（じゃ） が順番を待つ
4. 残り時間の少なさに □（あわてる）
5. □（かん） 部（ぶ） を氷で冷やす
6. 旅立つ朝は 大（おお） □（あわ） て（だ）
7. 製（せい） □（かん） 工場でアルミ容器を作る
8. 事故は 所（しょ） □（かつ） 署（しょ） が担当する
9. 褐炭 を燃やす火力発電所 □
10. 必要且つ十分な条件 □
11. メーカーが欠陥品を回収する □
12. 母の深い慈しみに包まれて育った □
13. 迅速且つ正確に処理する □
14. 暴君が無慈悲な命令を下す □
15. 夕日を浴びた岩肌が赤褐色に光る □
16. 古い鉱山の跡で地面が陥没する □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

日本漢字能力検定協会の公式教材ではありません。字の範囲は同協会の級別漢字表（2020年度）に基づきます
diglabo.com/k/W7CDEA59D356021EC

じゅん2きゅう ふりかえり6 A

なまえ

/ 24

1. 鉄板の表面に［あ］鉛（えん）をめっきする
2. 鐘の音の余（よ）［いん］が残る
3. 海辺の［うら］風（かぜ）が心地よい
4. 路面の［おう］凸（とつ）をならす
5. 落石の［おそれ］〔送り仮名なし・常用漢字一字〕
6. 祖父は［か］黙（もく）だが優しい人だ
7. 夏の夕暮れに［か］柱（ばしら）が立つ
8. 恩師は生（しょう）［がい］を研究に費やした
9. 事件の［かく］心（しん）に迫る
10. 監督が選手を一（いっ）［かつ］した
11. 日焼けして肌が［かっ］色（しょく）になる
12. 設計上の欠（けっ）［かん］を指摘する
13. 職人が仕上げた逸品を手に取る
14. ローマ教皇に謁見を許される
15. 戦禍を逃れて国外へ避難する
16. 地震に備えて懐中電灯を用意する
17. ハチが羽音で威嚇してくる
18. 必要且つ十分な条件
19. 明治の日本は生糸を多く輸出した
20. 日本画の群青は鉱物から作られる
21. 祖父は年賀状を欠かさない律儀者だ
22. 辞書を使う前に凡例に目を通す
23. 欠席する旨を前日までに担任へ伝える
24. 母の深い慈しみに包まれて育った

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

日本漢字能力検定協会の公式教材ではありません。字の範囲は同協会の級別漢字表（2020年度）に基づきます
diglabo.com/k/WFC6FD7185611BA74

じゅん2きゅう ふりかえり6 B

なまえ

/ 24

1. 民法は婚（こん）□（いん）の成立要件を定める
2. □（えん）人（じん）の化石が見つかる
3. 就職活動用の革（かわ）□（ぐつ）を買う
4. 議会が大統領を弾（だん）□（がい）する
5. 代金を一（いっ）□（かつ）で支払う
6. 非常用の□（かん）詰（づめ）を備蓄する
7. 勝利の□（め）神（がみ）がほほえむ
8. □（しょう）容（よう）として運命を受け入れる
9. 花火が夏の夜空を□（いろどる）
10. 工務店と□（せ）主（しゅ）が打ち合わせる
11. 残り時間の少なさに□（あわてる）
12. 赤いずきんの少（しょう）□（じょ）が森を歩（ある）く
13. 戦場から生還した中尉の手記を読む□
14. 大根の畝間に肥料をまく□
15. 睡眠不足で免疫力が落ちる□
16. 村の老翁に昔の祭りの話を聞く□
17. 会場が笑いの渦に包まれた□
18. 工場の稼働率が上がる□
19. 誘拐事件の捜査本部が置かれた□
20. 垣根越しに隣の人とあいさつする□
21. 甲殻類の脱皮を観察する□
22. のどの渇きを覚える□
23. この地域を管轄する消防署□
24. 政権が内憂外患の危機に立つ□

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

日本漢字能力検定協会の公式教材ではありません。字の範囲は同協会の級別漢字表（2020年度）に基づきます
diglabo.com/k/WDAB9DCC240D5A3EC

じゅん2きゅう ふりかえり6 B-2

なまえ

/ 24

1. 姉が春から銀行に□職（しゅう／しょく）する
2. ドッジボールで□子（じょ／し）が勝（か）つ
3. □王（じょ／おう）が王かんをかぶっている
4. 配偶者の親族を□族（いん／ぞく）という
5. 役所に婚（こん）□届（いん／とどけ）を出す
6. 姉が児童会長に□任（しゅう／にん）する
7. 秋の山は色（しき）□が豊かだ（さい）
8. 多（た）□な行事が開かれる（さい）
9. 店の□業員（じゅう／ぎょう／いん）に道を聞く
10. 新しい方法は□来（じゅう／らい）より早い
11. 旅立つ朝は大（おお）□て（あわ）だ
12. 父は□て者（あわ／もの）でよく転ぶ
13. 一年間の活動を総（そう）□する（かつ）
14. 全分野を包（ほう）□する法律（かつ）
15. 古くなった□設（し／せつ）を建て替える
16. 来月に実（じっ）□される避難訓練（し）
17. □カナメモチの生け垣が赤く色づく
18. □優勝パレードの沿道に人垣が続く
19. □尉官は将校の階級の一つだ
20. □戦時中は陸軍の少尉として戦った
21. □生活習慣病などの疾患を予防する
22. □患者の声に耳を傾ける医師
23. □身代金を要求する誘拐犯
24. □集めた会費を拐帯して姿を消す

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

日本漢字能力検定協会の公式教材ではありません。字の範囲は同協会の級別漢字表（2020年度）に基づきます
diglabo.com/k/WB1A91D15915B412D

じゅん2きゅう 部首

なまえ

/ 12

6	5	4	3	2	1
靴	虞	畝	韻	姻	尉
部首	部首	部首	部首	部首	部首

12	11	10	9	8	7
褐	嚇	殻	懐	蚊	稼
部首	部首	部首	部首	部首	部首

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

日本漢字能力検定協会の公式教材ではありません。字の範囲は同協会の級別漢字表（2020年度）に基づきます

diglabo.com/k/WBCCEE8DCAF796F56

じゅん2きゅう 送り仮名

なまえ

/ 6

1 アルバイトで学費を

かせぐ

2 ふるさとの景色が

なつかしい

3 長い練習でのどが

かわく

4 よく学び

かつ

よく遊ぶ

5 連敗して深刻な不振に

おちいる

6 長年リウマチを

わずらう

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

日本漢字能力検定協会の公式教材ではありません。字の範囲は同協会の級別漢字表（2020年度）に基づきます
diglabo.com/k/WD19C2640A91A4A58

じゅん2きゅう 熟語の構成

なまえ

/ 8

二字の意味のつながりを考え、合う説明の記号を書きましょう。

- ア 意味の近い二字
- イ 反対の意味や対になる二字
- ウ 前の字が、後ろの字の様子や種類を示す
- エ 後ろの字が、前の字の動作の対象を示す
- オ 前の字が、後ろの字の意味を否定する

1. 婚姻 □
2. 逸脱 □
3. 凹凸 □
4. 多寡 □
5. 余韻 □
6. 石垣 □
7. 検疫 □
8. 懐古 □

温暖　左右　急行　読書　未定

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

日本漢字能力検定協会の公式教材ではありません。字の範囲は同協会の級別漢字表（2020年度）に基づきます
diglabo.com/k/W3B96A899A476B82B

じゅん2きゅう 対義語の一字

なまえ

/ 6

対義語は反対や対になる意味、類義語は似た意味の言葉です。読みの候補を使って、□へ漢字一字を書きましょう。同じ読みは一度ずつ使います。

対…対義語
類…類義語

1 対 個別 — 一□

2 対 冗舌 — □黙

か・かつ

3 対 凸面 — □面

4 対 確信 — □疑

5 対 散文 — □文

6 対 隆起 — □没

いん・おう・かい・かん

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

日本漢字能力検定協会の公式教材ではありません。字の範囲は同協会の級別漢字表（2020年度）に基づきます

diglabo.com/k/W4518BEE36C93CA09

じゅん2きゅう 類義語の一字

なまえ

/ 6

対義語は反対や対になる意味、類義語は似た意味の言葉です。読みの候補を使って、□へ漢字一字を書きましょう。同じ読みは一度ずつ使います。

対…対義語
類…類義語

1
類
中枢 — 中□

2
類
俊才 — □材

いつ・かく

3
類
結婚 — 婚□

4
類
威圧 — 威□

5
類
所管 — 管□

6
類
疾病 — 疾□

いん・かく・かつ・かん

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

日本漢字能力検定協会の公式教材ではありません。字の範囲は同協会の級別漢字表（2020年度）に基づきます

diglabo.com/k/WA1D2A945DB6EE090

じゅん2きゅう 意味を手がかりに四字熟語

なまえ

/ 5

意味と読みを手がかりに、□へ漢字一字を書きましょう。

1

国の中にも、よその国との間にも心配ごとがあること

内憂外□（カン）

身よりがなく、ひとりぼっちであること

2

欲や迷いで心が乱れ、落ち着かないこと

天□（ガイ）孤独

3

意馬心□（エン）

4

大勢が拍手をして、声でも賞賛を表すこと

拍手□（カッ）采

5

自分の知識が少ないことを、へりくだって言うことば

浅学□（カ）聞

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10